

ご挨拶

地域がん登録全国協議会第25回学術集会会長 西野 善一

地域がん登録全国協議会第25回学術集会およびがん登録担当者研修会を平成28年6月2日（木）と3日（金）の2日間、石川県金沢市で開催いたしました。「がん登録等の推進に関する法律」が施行され全国がん登録がスタートしたわが国の地域がん登録にとって歴史的な年に開催の任にあたりましたことを大変光栄に思います。

今回の学術集会のテーマは「全国がん登録の保健・医療への貢献」としました。全国がん登録情報ががん対策やがんに関する調査研究に十分活用され、かつその成果の国民への還元に貢献していくことが登録に携わる者の使命であり、この学術集会がそのための一助となればと考えました。幸い両日とも天候に恵まれ、参加された皆様は会場での研鑽、議論、情報交換とともに金沢の文化、自然、味覚も楽しまれたものと思います。

プログラムは2日午後に全国がん登録における情報の利用と提供をテーマとしたがん登録担当者研修会を企画し、国立がん研究センターの柴田亜希子先生、松田智大先生、弘前大学の田中里奈先生に講師を務めていただきました。3日の学術集会では、午前中の招請講演で金沢大学の山田圭輔先生が「がん哲学外来とは何か」の題でがん哲学外来を始めるきっかけから実践の基盤とするロゴセラピーの考え方までをわかりやすくお話しされ多くの方より好評を得ました。午後は国立がん研究センターの西本寛先生による「がん診療連携拠点病院院内がん登録生存率集計」に関する教育講演と「全国がん登録の活用をいかに進めるか」と題した学術委員会企画シンポジウムを行いました。シンポジウムでは、対策、検診精度管理、生存率の都道府県較差の解明、診療実態把握への活用を取り上げるとともに、患者会のお二方より全国がん登録への貴重なご意見を伺うことができました。また、新たな試みとして昼食時にランチョンセミナーを企画し、株式会社キャンサースキャンの福吉潤先生より「がん検診受診率を上げる！行動変容マーケティングの科学的アプローチによる先進事例」と題して、わが国のがん対策における重要課題である検診受診率を向上させるための方策について講演をいただきました。ポスター演題は例年にも増して多岐にわたる内容の34題の応募があり、学術委員会が最優秀賞1、優秀賞2、特別賞2を選考し閉会式で表彰しました。おかげをもちまして盛会のうちに学術集会を終了することができました。ご協力いただきました全ての皆様に御礼申し上げます。